



カテナリーアイ開発担当者  
藤原 伸行

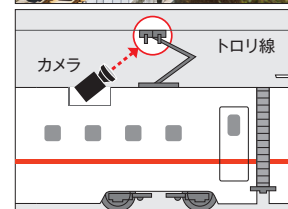
カテナリーアイ開発担当者  
庭川 誠

# 上を向いて、守ろう。

## MEIDEN Engineer's Note : No.1 架線検測装置 カテナリーアイ

電車は、頭上に張られたトロリ線(架線)と屋根の上にあるパンタグラフが触れることで電力の供給を受けて走っています。トロリ線は、その接触ですり減って切れたり、風などで位置がズレたり、安定した走行の妨げになってしまうこともある。カテナリーアイは、それらトロリ線の異常を検査・計測する明電舎独自の製品です。3月に全線開通した九州新幹線にも搭載され、最高時速約260kmという高速の世界で、直径約12mmのトロ

リ線を、約3cm間隔で検測している。その大きさは、車両の半分を占めるほど大型だった従来の装置と比べ、屋根上には小型カメラ2台とラインセンサのみというコンパクトなもの。検測専用の電車は不要となり、営業運転中の電車を使用する世界初の架線検測システムです。カテナリーアイは、決して下を向きません。いつもトロリ線を見上げ、鉄道網のスムーズな流れを支えている。電車の安全を見守り続けるその仕事に、終点はありません。



ストーリーは続くよ、WEBまでも。 | 明電舎 エンジニアズノート [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。 株式会社 明電舎